

株主のみなさまへ

第77期

中間報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで

トップメッセージ

中期経営計画

「Make Innovations Stage-II」の2年目を迎えて

当中間期の発泡プラスチック業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により食品容器関連需要の拡大があるものの各種部材や搬送資材・梱包材の需要が低迷するなど非常に厳しい経営環境となりました。

このような経営環境のなか、当社グループは新型コロナウイルス感染症に関して、製品の安全性、取引先企業や当社グループ従業員の安全と健康を第一に考えると共に、それに関するリスクを最大限、回避する対策を取りながら、本年が2年目となる3カ年中期経営計画「Make Innovations Stage-II」に掲げた「事業ポートフォリオの変革」「収益体質強化に向けた戦略の実行」を進化させるべく、施策を進めております。さらに、グループ全体で徹底した原価低減や固定費削減に努めて参りました。

また、環境リーディングカンパニーの位置づけを確固たるものとするため、2020年6月に公表した「SKG-5R STATEMENT」に基づき、SKG-5R^{*1}活動推進の一層の拡大を図っております。当中間期にはランニングシューズのミッドソールに採用された「エラストイル」の植物由来グレード「エラストイルBIO」^{*2}の本格出荷も開始しました。

その結果、連結売上高は551億1千6百万円、連結営業利益は3億6千8百万円、連結経常利益は3億6百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1億3千8百万円となりました。

当中間期の配当につきましては、1株につき4円とさせていただきました。中間配当金の支払開始日は12月2日となります。なお、期末の配当につきましては、17円を予定しております。

今期の見通しにつきましては、連結売上高1,160億円、連結営業利益20億円、連結経常利益16億円、親会社株主に帰属する当期純利益10億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

^{*1}「SKG」は積水化成製品グループを指します。

「5R」はReduce, Reuse, Recycle, Replace, Re-createを指します。

^{*2}「エラストイルBIO」は軽量性、高反発性、曲げ強度や圧縮強度などの高い特性を持った熱可塑性エラストマー発泡体（「エラストイル」のうち、植物由来のグレードを言います。



連結財務ハイライト

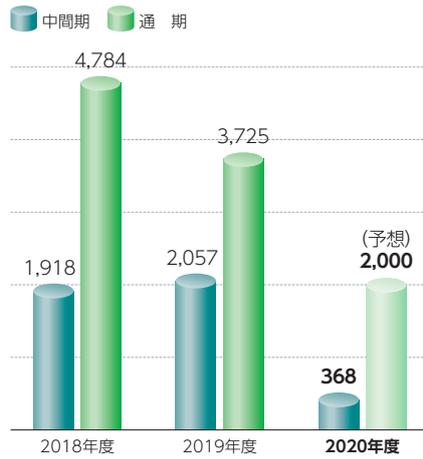
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



経常利益

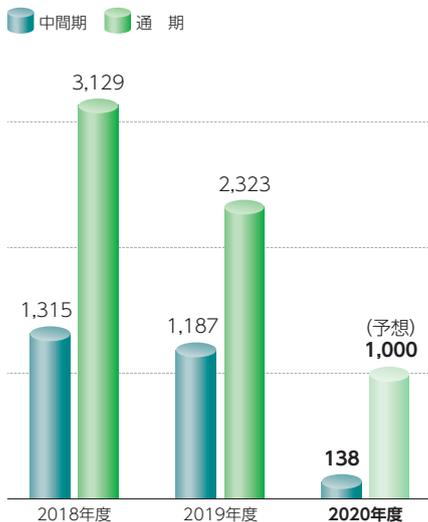
(百万円)



新型コロナウイルス感染症の影響により、国内では食品容器関連需要の拡大があったものの、各種部材や搬送資材・梱包材の需要は国内外で低迷したことから、前年対比で減収、減益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



原価低減や固定費削減に取り組むも、販売低迷による売上の減少を補えず、前年対比で減益となりました。

配当実績

(円)



連結業績の動向に応じ、かつ配当の安定性と内部留保のバランスを総合的に判断して決定しました。

中間連結財務データ

■ 中間連結貸借対照表の要旨

(単位: 百万円)

資産の部	当中間期 (2020年9月30日現在)	前 期 (2020年3月31日現在)
流動資産	56,890	58,342
固定資産	93,573	90,761
資産合計	150,463	149,103

(単位: 百万円)

負債・純資産の部	当中間期 (2020年9月30日現在)	前 期 (2020年3月31日現在)
流動負債	36,497	38,393
固定負債	45,395	43,493
負債合計	81,893	81,886
純資産合計	68,570	67,217
負債・純資産合計	150,463	149,103

■ 中間連結損益計算書の要旨

(単位: 百万円)

	当中間期 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	前中間期 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	55,116	69,956
営業利益	368	2,057
経常利益	306	1,780
親会社株主に帰属する中間純利益	138	1,187

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位: 百万円)

	当中間期 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	前中間期 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	779	1,733
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,969	△ 2,509
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,266	△ 2,735

2020年度中間期の事業別概況（連結）

生活分野（ヒューマンライフ）

売上高27,129百万円
売上構成比49.2%

食品容器関連は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出自粛や来日外国人の大幅な減少から、行楽、観光関連向けの需要減少が続きましたが、内中食向けの需要は増加傾向が続き、スーパーの生鮮食品用トレー向け及び飲食店における持ち帰り容器向けの需要が好調に推移しました。一方、水産関連、建材関連の需要は引き続き低調に推移しました。主力製品である「エスレンシート」の売上数量は、生鮮食品用トレーなどの食品容器関連用途の需要増を確実に取込み、前年同期比伸長しました。「エスレンビーズ」の売上数量は、消費者の在宅時間の増加などからクッション材などのライフグッズ用途の販売が好調を継続したものの、主要用途である水産関連用途が漁獲高の減少に加え、飲食店向けの需要減から前年同期比で減少するなど、総じて低調に推移しました。

売上高 (百万円)



工業分野（インダストリー）

売上高27,987百万円
売上構成比50.8%

自動車関連では、昨年度からの世界的な自動車需要の低迷に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大により、国内外の自動車メーカーが工場の稼働停止、生産調整を実施したことで、自動車部材、部品梱包材用途の「ピオセラン」の販売が落ち込みました。家電・IT関連でも「ピオセラン」を使ったパネル搬送資材・梱包材用途が低迷しました。また「テクノポリマー」は、液晶パネル等の光拡散用途では、在宅勤務等によるPC・モニターの需要増などで、売上が堅調でしたが、塗料用途、化粧品用途は低調に推移しました。医療・健康関連では「エラストイル」を使ったランニングシューズのミッドソールにおいて、各国での外出自粛などの行動規制により販売伸長に影響が出ました。「テクノゲル (ST-gel)」は、米中の貿易摩擦や新型コロナウイルス感染症による需要減の影響を受けました。

売上高 (百万円)



トピックス

新コーポレートロゴおよびコーポレートメッセージを制定

当社は創立60周年の節目として、新たなコーポレートブランドを検討してきましたが、2020年10月に創立61周年を迎え、新コーポレートロゴおよびコーポレートメッセージを制定しました。

当社のコーポレートカラーであるグリーンをベースに、より若々しいイメージの若草色を採用しつつ、60年の伝統にふさわしい普遍的なロゴに仕上げました。なお、ロゴ右肩のみどりの円は、私たちが目指すべき「美しい未来の地球」を表現しています。

私たちはこの新しいコーポレートメッセージのもと、人と地球が調和し続ける持続可能な社会を目指します。

コーポレートロゴ

SEKISUIKASEI

コーポレートメッセージ

人と地球の、美しい未来へ。

コーポレートメッセージ（グローバル）

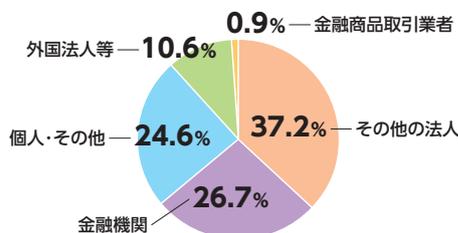
Our Planet. Our Tomorrow.

株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行株式数および株主数

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
124,751,000株	46,988,109株	6,921名

所有者別分布状況 (所有比率)



(注) 所有比率は、自己株式(1,600千株)を控除して計算しております。

大株主

株主名	所有株式数	所有比率
	千株	%
積水化学工業株式会社	9,855	21.71
第一生命保険株式会社	3,031	6.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,817	4.00
積水化成成品従業員持株会	1,786	3.94
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	1,425	3.14
積水樹脂株式会社	1,419	3.13
大同生命保険株式会社	1,418	3.12
株式会社エフピコ	1,348	2.97
株式会社三菱UFJ銀行	1,327	2.92
旭化成株式会社	1,250	2.75
デンカ株式会社	1,250	2.75

(注) 当社は自己株式を1,600千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

会社概要 (2020年9月30日現在)

会社の概要

商号(英文商号) 積水化成成品工業株式会社 (Sekisui Kasei Co.,Ltd.)
本社 大阪市北区西天満二丁目4番4号
設立年月日 1959年10月1日
資本金 16,533,476,176円
グループ従業員数 3,825名
営業品目
(セグメント別)

生活分野	市場・用途	主な製品・商品	工業分野	市場・用途	主な製品・商品
	農水産資材、食品包装材、流通資材、建築資材、土木資材			自動車部材、車輻部品梱包材、産業部材、産業包装材、電子部品材料、医療・健康用材料	
		エスレンビーズ、エスレンシート、エスレンウッド、インターフォーム、これら成形加工品 ESダンマット、エスレンブロックなど			ピオセララン、ライトロン、ネオミクロレン、セルパット、テフポリマー、テクノゲル、テフヒーター、エラストイル、フォーマック、ST-LAYER、これら成形加工品など

取締役および監査役

取締役	代表取締役社長	柏原正人
取締役	池垣徹哉	
取締役	廣田徹治	
取締役	塩田哲也	
取締役	佐々木勝巳	
取締役	浅田英志	
社外取締役	馬場宏之	
社外取締役	窪田森雄	
社外取締役	北川尚人	
監査役	常勤監査役	宮下幸一
常勤監査役	竹腰浩次郎	
社外監査役	福永年隆	
社外監査役	長濱守信	
社外監査役	高坂敬三	

経営理念

われわれ積水化成成品グループは、人間尊重と相互信頼を基本に全員経営を実践し
“新しい幸せ”を目指して常にイノベーションをし続けます

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 毎年3月31日、期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL 0120-094-777 (通話料無料)



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。